

の科学の世界に触れた。

若手研究者たちで作るNPO法人「サイエンスステーション」が企画し、全国各地を回っている。話し手が一方的に講義するのではなく、聴いていてわからない点があったら途中でも質問できる。この日は天文学や地理学、物理学を学ぶ3人が、それぞれの研究について話した。

東京大大学院の博士課程で天文学を学ぶ藤原英明さん(25)は「太陽系外に惑星を探せ」の題で説明した。地球以外に生命が存在する可能性について話したほか、ハンマー投げの動きで惑星と恒星の関係をわかりやすく示した。熱心に聴いていた松江市美保関町、県立松江北高2年山根一航君(16)は「科学を身近に感じられた。将来は光の研究をしてみたい」と笑顔で話していた。

東大大学院生ら 科学の魅力伝える

松江、高校生ら参加

物理学などを研究する大学院生らが、市民にわかりやすく科学の魅力を伝える「サイエンスカフェ in 松江」が15日、松江市殿町のカラコロ工房で開かれた。親子連れや高校生など約30人が参加し、お茶やお菓子を楽しみながら最先端



活発に質疑が交わされる「サイエンスカフェ in 松江」(松江市のカラコロ工房で)